

## 教員養成の各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	教育の目的と意義を理解し、幼稚園教諭として必要な教養基礎・社会人基礎等の知識や資質の形成をする。これらの実現のために、発達心理学、保育内容の指導法（言葉）、日本国憲法、体育Ⅰ・Ⅱ、外国語コミュニケーションⅠ、情報科学を配列する。
	後期	必要な教養基礎・社会人基礎の知識をさらに醸成するとともに、教育の本質を理解し、幼稚園教諭として基盤となる子どもに対する「豊かな愛情」や「人間性」、教育に対する「使命感」や「責任感」を培う。これらの実現のために、教育原理、保育内容の指導法（人間関係）・（身体表現）、音楽Ⅱ、図画工作Ⅱ、外国語コミュニケーションⅡA・B、情報活用を配列する。
2年次	前期	教職の意義を理解し、幼児理解や学級経営等に関する必要な能力の基礎を身に付ける。その達成のために、教職に関する科目（教職論、保育指導計画の方法、保育内容の指導法（健康）・（造形表現Ⅰ）、教職演習、幼稚園実習Ⅰ）並びに教科に関する科目（幼児の運動と遊びⅠ）を重点的に配列する。
	後期	幼稚園教諭に求められる「基礎知識」や「技能」を学び、教育の目的を理解すると共に保育内容の方法や指導力の基盤を形成する。その達成のために、保育内容の指導法（環境）・（音楽表現）・（造形表現Ⅱ）、教育方法論、保育臨床相談、幼稚園教育実習Ⅱを配列する。
3年次	前期	幼稚園教諭になるための「実践的な指導力」と「実務能力」を習得する。そのために保育・教職実践演習Ⅰを配列する。
	後期	保護者や地域の関係者との適切なコミュニケーションを図り、前期に習得した「実践的な指導力」と「実務能力」を応用、発展させる。その実現のために前期に引き続き、保育・教職実践演習Ⅱを配列し、いっそうの向上を図る。